

報道機関各位

一般財団法人とうほう地域総合研究所
理事長 矢吹 光一

「第79回 福島県内景気動向調査」の結果について (2021年度上期現況と2021年度下期見通し)

当研究所では年2回「福島県内景気動向調査」(1月調査、7月調査)を実施しております。この度、2021年7月調査の結果をとりまとめましたのでお知らせいたします。詳細は当研究所機関誌「福島の進路」2021年10月号(9月28日発行)に掲載するとともに、当研究所ホームページでも公表しております。

<要 旨>

県内企業の景況は、現況・先行きとも下降局面にあるが、 一部で持ち直しの兆しがみられる

【自社の業況判断】

1. 現状の業況判断

現況(2021年度上期) BSI(景況判断指数)は、全産業 $\Delta 19$ (前期比 $\Delta 1$ ポイント)、製造業 $\Delta 6$ (同 $+13$ ポイント)、非製造業 $\Delta 31$ (同 $\Delta 15$ ポイント)と、いずれも BSI 値がマイナス値となったが、前期比では製造業でマイナスが縮小する一方、非製造業ではマイナスが拡大した。

2. 今後の業況判断

見通し(2021年度下期) BSIは、全産業 $\Delta 17$ (同 $+2$ ポイント)、製造業 $+3$ (同 $+9$ ポイント)、非製造業 $\Delta 35$ (同 $\Delta 4$ ポイント)と、BSI 値は製造業でプラス値に転じたものの、非製造業ではマイナスが拡大した。

【雇用動向】

2021年7月の雇用過不足 BSIは、全産業で $\Delta 32$ (前回調査比 $\Delta 10$ ポイント)、製造業で $\Delta 35$ (同 $\Delta 17$ ポイント)、非製造業で $\Delta 30$ (同 $\Delta 5$ ポイント)となり、前期(2021年1月)に比べ不足感がやや強まった。

【新型コロナウイルス感染拡大による経営状況等について】

2020年10~12月と比較した直近(2021年4~6月)は、全産業では「変化なし」が53.1%と最も高く、次いで「悪くなった」が29.9%と約3割を占め、「良くなった」の17.0%を上回った。

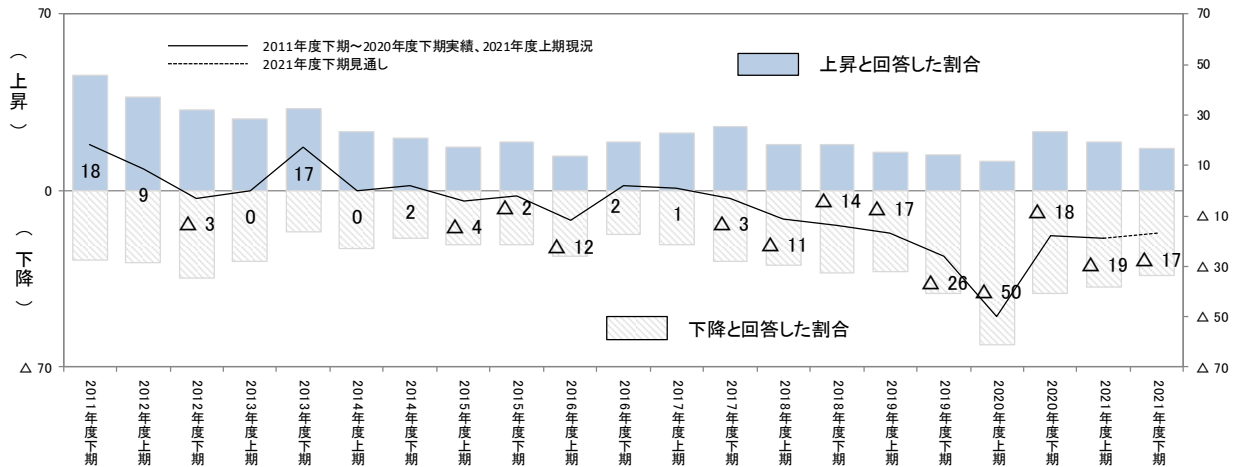
1. 自社の業況判断BSI

A. 2021年度上期現況は、全産業△19（前期比△1ポイント）^注、製造業△6（+13ポイント）、非製造業△31（△15ポイント）と、いずれもBSI値はマイナス値となったが、製造業ではマイナスが縮小し、非製造業ではマイナスが拡大した（図表1、2）。

※注）以下（ ）カッコ内は前期比を表す。

B. 2021年度下期見通しは、全産業△17（+2ポイント）、製造業+3（+9ポイント）、非製造業△35（△4ポイント）と、BSI値は製造業でプラス値に転じる一方、非製造業ではマイナスが拡大した（図表1、2）。

図表1 自社の業況判断BSI推移(全産業)



図表2 自社の業況判断(上昇・下降)BSI

	2019年度上期 実績※1 BSI値	2019年度下期 実績※1 BSI値	2020年度上期 実績※1 BSI値	2020年度下期 実績※1 BSI値	2021年度上期 現況※2 BSI値	変化幅	2021年度下期 見通し BSI値	変化幅
全産業	△17	△26	△50	△18 (△30)	△19 (△37)	△1	△17	2
製造業	△17	△27	△59	△19 (△27)	△6 (△28)	13	3	9
飲料食品	△25	△38	△43	△43 (△37)	△52 (△27)	△9	△22	30
繊維・繊維製品	△47	△21	△80	△53 (△40)	△29 (△73)	24	△6	23
木材・木製品	14	0	△57	△57 (△57)	14 (△57)	71	△14	△28
紙・紙加工品	0	0	△100	△29 (△67)	△14 (△44)	15	△43	△29
化学	0	△29	△44	25 (0)	38 (△22)	13	38	0
窯業・土石製品	△46	△18	△9	△38 (△18)	△23 (△27)	15	△8	15
鉄鋼・非鉄金属製品	△10	△27	△47	7 (△27)	0 (△13)	△7	21	21
はん用・生産用・業務用機械	△19	△20	△79	△27 (△24)	9 (△24)	36	14	5
電気機械	14	0	△67	0 (△50)	20 (△17)	20	60	40
情報通信機械	17	△33	△50	△14 (△17)	0 (0)	14	△14	△14
電子部品・デバイス	△11	△50	△33	20 (△22)	50 (11)	30	30	△20
輸送用機械	△31	△64	△100	18 (0)	0 (0)	△18	9	9
その他製造業	△9	△26	△53	△5 (△11)	0 (△42)	5	5	5
非製造業	△17	△26	△42	△16 (△32)	△31 (△44)	△15	△35	△4
建設業	△28	△20	△19	4 (△8)	△21 (△46)	△25	△39	△18
運輸業	△23	△50	△93	△46 (△71)	0 (△50)	46	△15	△15
情報通信	14	0	△40	33 (△60)	△33 (△80)	△66	△67	△34
卸・小売業	△21	△35	△40	△11 (△31)	△33 (△44)	△22	△34	△1
サービス業	2	△9	△44	△31 (△33)	△38 (△40)	△7	△36	2
その他非製造業	△25	△15	△50	△30 (△43)	△40 (△29)	△10	△40	0

※1: 再調査した実績、()内は前回調査の現況

※2: ()内は前回調査の見通し

2. 雇用動向

(1) 雇用の過不足感

2021年7月の雇用過不足BSIは、全産業で△32（製造業△35、非製造業△30）となり、前期（2021年1月）に比べ不足感がやや強まった。不足感のある業種は、製造業で13業種すべて、非製造業で「情報通信」を除く5業種であった（図表3）。

図表3 雇用の過不足BSI(過剰－不足)

	全体		管理・事務		技術・研究開発		製造		営業・接客	
	2021年1月	2021年7月	2021年1月	2021年7月	2021年1月	2021年7月	2021年1月	2021年7月	2021年1月	2021年7月
全産業業	△22	△32	△2	△5	△32	△44	△24	△40	△26	△25
製造業	△18	△35	△4	△10	△24	△43	△23	△40	△23	△21
飲食料品	△7	△26	0	9	△18	△39	△13	△26	△4	5
繊維・繊維製品	13	△12	0	6	△18	△31	20	△19	△8	△7
木材・木製品	△29	△29	0	0	0	△17	△57	△33	△17	△29
紙・紙加工品	11	△57	△11	△29	△14	0	0	△71	△33	△50
化学	△22	△25	△11	△25	△13	△29	△22	△25	△14	0
窯業・土石製品	△46	△31	△18	8	△20	△46	△55	△46	△33	△36
鉄鋼・非鉄金属製品	△20	△43	△7	△42	△39	△55	△47	△57	△36	△42
はん用・生産用・業務用機械	△35	△59	△3	△14	△33	△60	△18	△41	△35	△24
電気機械	△50	△80	△17	△40	△17	△25	△50	△80	△17	△67
情報通信機械	17	△43	17	0	△50	△67	33	△43	△60	△29
電子部品・デバイス	11	△30	0	△50	△25	△67	△11	△60	0	△22
輸送用機械	△42	△50	△9	△11	△9	△44	△58	△60	0	0
その他製造業	△28	△11	0	6	△29	△31	△33	△21	△38	△25
非製造業	△25	△30	0	1	△44	△45	-	-	△29	△27
建設業	△54	△63	△9	0	△71	△76	-	-	△34	△21
運輸業	7	△54	15	△30	△13	0	-	-	△8	△58
情報通信	△20	0	0	0	△25	0	-	-	△40	0
卸・小売業	△24	△18	2	7	△40	△35	-	-	△30	△24
サービス業	△22	△29	△7	△3	△28	△37	-	-	△32	△32
その他非製造業	8	△20	17	0	△25	△100	-	-	△9	△22

注：雇用過不足BSI＝過剰－不足。プラスは過剰感、マイナスは不足感を表す。

(2) 雇用人員

2022年4月見込みの雇用人員BSIは、全産業＋14、製造業＋21、非製造業＋8と、製造業・非製造業ともに正社員を中心に増加することが予想される（図表4）。

図表4 2022年4月見込みの雇用人員BSI[前年同時期比較(増・減)]

	総人員		
		正社員	パート等
全産業業	14	14	2
製造業	21	18	7
非製造業	8	10	△3

※2021年4月と比較した2022年4月の雇用人員(増・減)BSI

(3) 採用

2022年春に新規採用を見込む企業数は174社と、全産業が前期比＋11.5%、製造業で同＋20.0%、非製造業では同＋3.7%とともに増加見込みとなった。また、新規採用の見込み人数は1,134人と、全産業が同△1.6%、製造業で同＋17.5%、非製造業では同△8.0%であった（図表5）。

図表5 新規採用計画

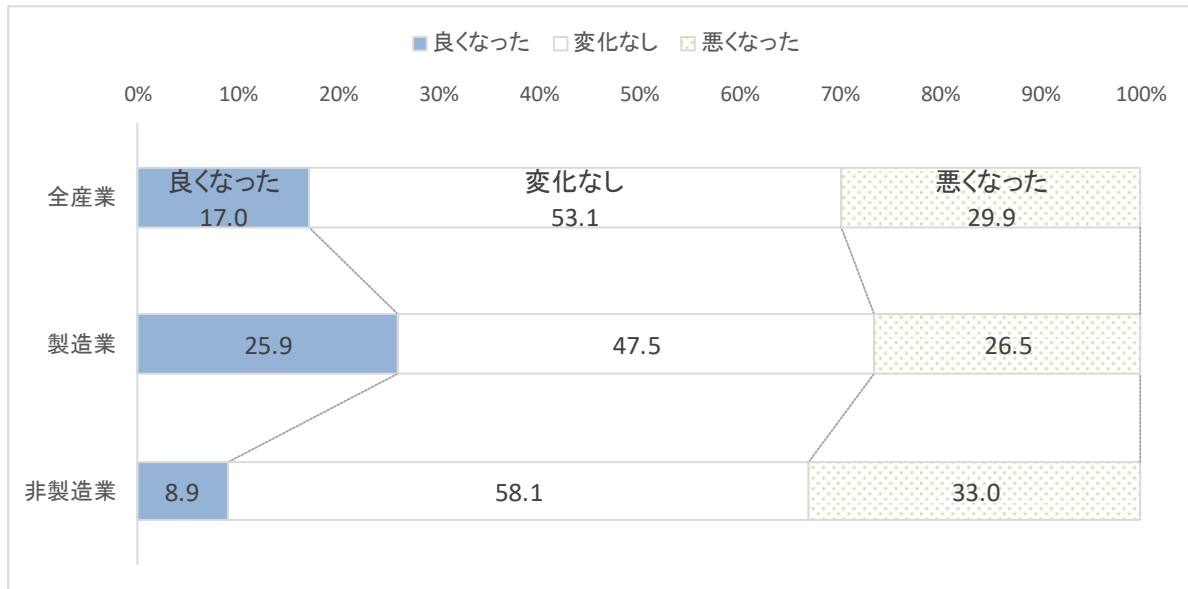
(単位:社、人、%)

	採用企業数			採用人員数								前年比増減率
	2021年春採用実績	2022年春採用見込み	前年比増減率	2021年春採用実績	2022年春採用見込み			前年比増減率				
					正規	非正規	無回答					
全産業業	156	174	11.5	1,152	778	136	238	1,134	741	120	273	△1.6
製造業	75	90	20.0	291	280	9	2	342	325	6	11	17.5
非製造業	81	84	3.7	861	498	127	236	792	416	114	262	△8.0
建設業	17	22	29.4	66	58	3	5	50	44	1	5	△24.2
運輸業	1	3	200.0	2	2	0	0	3	3	0	0	50.0
情報通信	3	2	△33.3	43	40	3	0	25	23	2	0	△41.9
卸・小売業	40	40	0.0	603	271	105	227	617	258	102	257	2.3
サービス業	18	16	△11.1	144	124	16	4	94	85	9	0	△34.7
その他非製造業	2	1	△50.0	3	3	0	0	3	3	0	0	0.0

3. 直近（2021年4～6月）における新型コロナウイルス感染拡大による経営への影響について （2020年10～12月との比較）

新型コロナウイルス感染拡大による経営への影響について、2020年10～12月時と比較して直近（2021年4～6月）にどう変化したか尋ねたところ、全産業では「変化なし」が53.1%と最も高く、次いで「悪くなった」が29.9%と約3割を占め、「良くなった」の17.0%を上回った（図表6）。

図表6 直近（2021年4～6月）における新型コロナウイルス感染拡大による経営への影響について（2020年10～12月との比較）



● 調査要領

1. 調査方法 多項目アンケート調査郵送法
2. 調査対象 県内企業 543社
3. 回答企業 355社（有効回答率65.4%）
4. 調査時期 2021年7月
（前回調査：2021年1月）
5. 調査対象期間
2020年度下期：2020年10月～2021年3月期
この期間は「実績」と記載
2021年度上期：2021年4月～2021年9月期
この期間は「現況」と記載
2021年度下期：2021年10月～2022年3月期
この期間は「見通し」と記載

注：BSI(ビジネス・サーベイ・インデックス)の計算方法

$$\frac{\text{「上昇」と回答した企業数} - \text{「下降」とした企業数}}{\text{総回答企業数}} \times 100$$

例：総回答企業数 200社

「上昇」50社 「不変」80社 「下降」70社

$$\frac{50 - 70}{200} \times 100 = \Delta 10$$

（小数点第1位四捨五入）

業種	回答企業数	構成比
製造業	166社	46.8%
飲食料品	23	6.5
繊維・繊維製品	17	4.8
木材・木製品	8	2.3
紙・紙加工品	8	2.3
化学	8	2.3
窯業・土石製品	13	3.7
鉄鋼・非鉄金属製品	14	3.9
はん用・生産用・業務用機械	22	6.2
電気機械	5	1.4
情報通信機械	7	2.0
電子部品・デバイス	10	2.8
輸送用機械	11	3.1
その他製造業	20	5.6
非製造業	189	53.2
建設業	29	8.2
運輸業	13	3.7
情報通信	4	1.1
卸・小売業	90	25.4
サービス業	43	12.1
その他非製造業	10	2.8
全産業計	355	100.0

《本件に関する質問・お問い合わせ先》

一般財団法人とうほう地域総合研究所 担当：高橋

TEL：024-523-3171（9：00～17：00）